

# Victory

NO.12

令和8年3月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館 文責：小原央子

弥生三月。

今月はじめに、高校3年生がこの学び舎を巣立っていきました。毎年のことですが、この時期は学校という空間にぽっかりと空白を感じます。

令和7年度がもう少しで幕を閉じます。

さて、3月8日は「国際女性デー」でした。可憐なミモザの黄色い花が春を告げると同時に心を温かくしてくれます。

ミモザはご存じの通り「国際女性デー」のシンボルですが、その由来はイタリアの女性政治家たちによる女性運動に端を発しています。このミモザの花、一見はかなさを感じますが、オーストラリア原産のマメ科アカシアの樹木で、険しい土地でもたくましく育つそうです。なるほど、可憐さの中にも強さを秘めたこの花がシンボルとなったことがわかります。

外を歩くと、足下に春の野草そして遠くから時折ウグイスの囀りが聞こえてきます。少しずつ「はじまり」を迎える準備をする時期です。

みなさん同様に、学校図書館も新たな「はじまり」に向けて準備していきます。一年間、図書館を利用してくださりありがとうございました。



## 春の長期貸出と閉館について

◎もう借りましたか？この期間に、読みたい本はもちろんですが、きみろんのテーマ関連図書や新書を読むことをおすすめします。中学3年生も貸出できます。

貸出期間：3月9日（月）～3月18日（水）

貸出冊数：無制限

返却期間：4月10日（金）

図書館閉館日：3月19日（木）



## 本屋大賞ノミネート作読んでみる！

お待たせしました！毎年行われる全国の書店員による「本屋大賞」ですが、あなたは意識して読んだことがありますか？お気に入りの作家さんの本だったり、タイトルで、帯で、はたまた装幀で、何気なく取った一冊のウラには書店員たちの「この本を売りたい！」という思いがギュッとつまっています。大賞発表は、4月9日です。

そうそう、高校2年生のきみろんで本屋大賞をテーマに取り上げていた生徒もいました。その時代時代でどんな本が生まれるのか、作家は何を考え、届けたいと思いつくのか…さまざまな切り口からあなたなりの読み方をしてもらえたら、きっと本も作家も嬉しいはず。春の一冊にいかが？

今回は次の10冊がノミネートされています。

『イン・ザ・メガチャーチ』

朝井リョウ著（日本経済新聞出版社）\*まさに現代社会！

『さよならジャバウォック』

伊坂幸太郎著（双葉社）  
\*SF的奇想天外ミステリー

『エピクロスの処方箋』

夏川草介著（水鈴社）  
\*現役医師が描く、人の命と幸福について

『熟柿』

佐藤正午著  
（KADOKAWA）  
\*犯罪小説と括れない深さ

『失われた貌』

桜田智也著  
（新潮社）  
\*ミステリランキング3冠！

『PRIZE—プライズ—』

村山由佳著（文藝春秋）  
\*承認欲求剥き出し作家爆走！

『探偵小石は恋しない』

森バジル著（小学館）  
\*超絶トリックミステリー

『殺し屋の営業術』

野宮有著（講談社）  
\*江戸川乱歩賞受賞

『ありか』

瀬尾まいこ著（水鈴社）\*かけがえない人と人の関係性を紡ぐ

『暁星』湊かなえ著

（双葉社）  
\*極上の「愛の物語」をあなたに





# 図書館利用、この一年を振り返る



令和7年度の利用状況を報告します。

\*調査項目：貸出利用、分類別利用、人気の本ベスト5

\*調査対象：中学生、高校生（全学年）

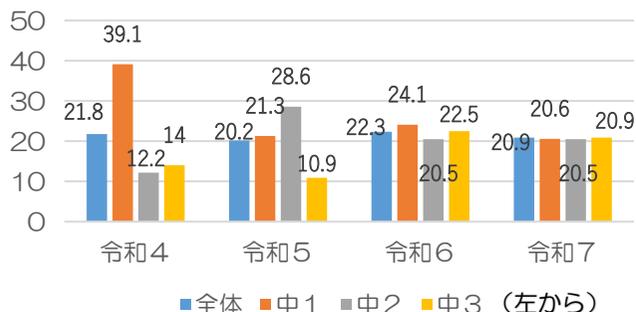
\*検索期間：令和4年度から7年度4月1日～3月12日  
(ただし分類別利用は令和7年度)

\*調査方法：School PRO 図書 貸出実績統計より

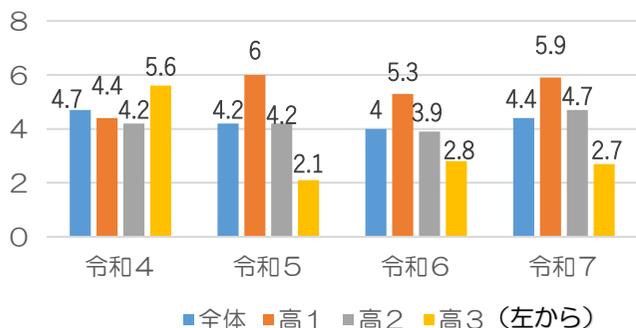


## 貸出利用統計

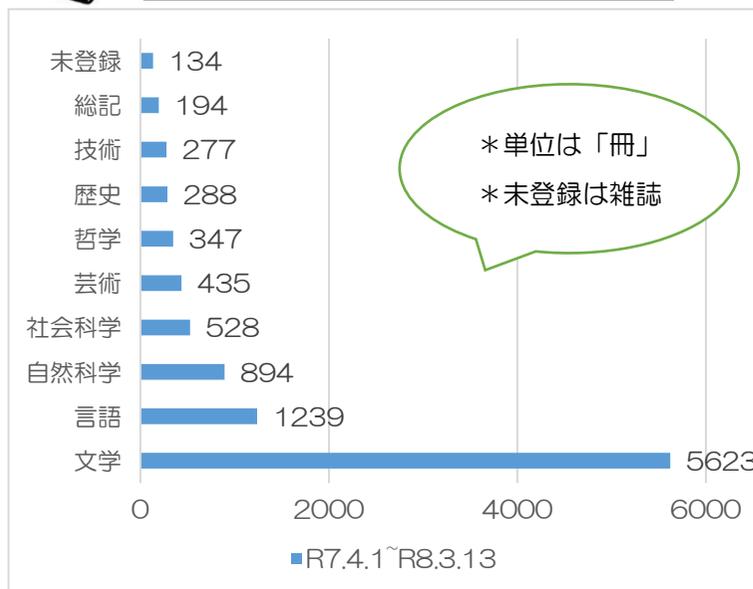
### 中学生：R4～R7貸出実績統計



### 高校生：R4～R7貸出実績統計



## 分類別利用状況（全体）



## 検証・考察・展望

貸出利用統計は、4年間の経年変化から利用状況を振り返りました。

新型コロナによる制限が軽減されたR4年度、GIGAスクール構想による一人一台端末も定着していく中で、全国的に高校生の不読率は全体の6割を超える勢いですが、本校の場合はむしろ微量ながら毎年利用率は上がっています。中学生においては以前から平均20冊を維持しつつ、ここ1、2年はどの学年もまんべんなく利用していることが伺えます。

また高校生においても学習内容・量がハードになる中で高3生の利用が減るのは必然ですが、こちらでも毎年利用は伸びています。

分類別で見るとやはり文学が圧倒的に多いですが、学習および探究での関連図書の利用がこの3年ほど増えているのも事実です。

蔵書構成もそのおかげで0類から8類までの資料が充実してきました。「ない」と言わせないスタンスでコレクション形成に努めています。つまりは、利用者である生徒・教職員のみさんの声が作り上げているということ。

読書は、今後ますます多様化していきます。従来の紙媒体である本はもちろん、電子書籍などによる読書も増加していくでしょう。

「読む」ことが私たちの脳を刺激し、心を育て豊かな人格を形成することは普遍です。



## 人気の本ベスト5



### 【中学】

- 1位 『有罪、とAIは告げた』 中山七里著 913.6
- 2位 『天気図がわかる』 三浦郁夫著 450
- 3位 『六人の嘘つきな大学生』 浅倉秋成著 913.6
- 4位 『薬屋のひとりごと11』 日向夏著 913.6
- 5位 『ハリーポッターと不死鳥の騎士団』 J・K・ローリング 933

### 【高校】

- 1位 『英検2級過去6回問題集』 830
- 2位 『核心のイメージがわかる！英文法キャラクター図鑑』 関正生著 837
- 3位 『新本格魔法少女りすか2』 西尾維新著 913.6
- 3位 『一度読んだら絶対忘れない物理の教科書』 池末翔太著 420
- 5位 『産科医が消える前に』 森田豊著 495